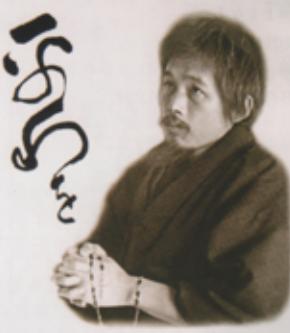


# 永井 隆博士



平和を願いつづけ  
自分のように  
隣人を愛した人

記念館のパンフレットから

永井 隆  
常に危険を冒  
して放射線医学  
の研究に心血を  
注ぎ、遂に放射

「表彰状」

状が展示してあ  
る。永井博士の  
功績を知らない  
人も多くなった  
のでその全文を  
紹介する。

このほか年譜による  
と昭和二十四年には昭  
和天皇が病床を見舞わ  
れ、教皇特使の枢機卿  
やヘレン・ケラー女史  
も如己堂を訪れた。長  
崎名譽市民第一号、三

三刀屋に出かける前  
に、妻が本箱から「路  
上の人」という冊子を見  
つけてくれた。永井博士  
が弟と一緒につくった日本二十六聖人の  
紙芝居を殉教四百年を記念して小冊子にした

もので、あとがきにこの紙芝居の原画は三刀屋記念館に展示してあるとあった。

作曲した「長崎の鐘」は空前のヒットとなり、芝居や映画にもなった。もう一度「長崎の鐘」を読みうと思ったが、我が家の中には見当たらない。止むなく下松市の図書館に出かけたが「貸出し中」とのこと、今も読む人がいるのだとうれしくなった。

## 総理大臣表彰

### 二つの永井隆記念館②

個人の功績を後世に伝えるために公営の記念館が二つあるのは珍しい。長崎市立記念館に統いて永井隆博士が幼少の十年間を過ごし

た島根県三刀屋に記念館が建てられたのは昭和四十五年。当初は三刀屋町立であったが、平成の大合併で現在は雲南市立記念館となっ

三刀屋の記念館には昭和二十五年六月、後にノーベル賞を受賞する湯川秀樹博士と一緒に内閣総理大臣表彰を受けた時の表彰状が展示してある。永井博士の功績を知らない人も多くなったのでその全文を

永井隆の生誕百年に当たる平成二十年は記念館前に如己堂の複製も建てられた。

内閣総理大臣 吉田茂

先日、なでしこジャパンが受賞した国民栄誉賞は昭和五十二年に始まつたものだが、それより二十七年も前に国会の表彰勅告に基づいて表彰されたことを私は全く知らなかつた。

博士からの手紙を大切にしていたので、開館の際、寄贈されたという。友人たちは博士からの手紙を大切にしている。友人たちは書や絵でも非凡な才能を持っていたようではがきには絵が添えられている。友人たちは博士からの手紙を大切にしていたので、開館の際、寄贈されたとい



# サビエル生誕五百年

## 巡礼の道

藤屋侃士  
(下松市幸ヶ丘)

262

線職業病の一つである慢性骨髓性白血病の犯すところとなつたが、

お不屈の精神を振起して職務に精励し、他の模範とすべきである。たまたま原子爆弾に負傷し、病床につく身となつた後は著述に力を尽くし「長崎の鐘」

「この子を残して」等幾多の著書を出して社会教育上寄与するところである。よつてここにこれを表彰する。

刀屋名譽町民第一号など、あればきりがない。終戦直前の二十年六月、白血病で「余命三年」と診断されながら倍の六年間を生き抜き、二十六年に四十三歳の若さで帰天した。

二週間後に営まれた長崎市の公葬には市民二万人が浦上天主堂から国際墓地までの沿道を埋めつくした。

三刀屋記念館には永井博士が故郷の友人などに出したはがきがたくさん展示してある。彼は文章だけでなく、書や絵でも非凡な才能を持っていたようではがきには絵が添えられており、その中には吉田茂の手書きの「内閣総理大臣 吉田茂」という署名がある。

故郷の友人などに出したはがきや手紙がたくさん展示されている